

「愛知中部水道企業団環境計画」令和2年度分の結果報告

愛知中部水道企業団では、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、平成17年3月に策定した「愛知中部水道企業団地球温暖化対策実行計画」により、平成26年度まで計画を実行し、温室効果ガス(CO2)の削減を目標に取り組んできました。平成27年4月には「愛知中部水道企業団環境計画」を策定し、令和6年度までの10年を計画期間として定めました。

令和2年度については、下半期の5年間の第2計画期とする中期的な目標達成に向けた「愛知中部水道企業団環境計画実施計画 令和2年度～令和6年度」の初年度となり、その結果を以下のとおり報告します。

1 地球温暖化対策の推進

令和2年度の電力使用量は2,434,748kWhとなり、前年度に対して87,321kWh(3.46%)の減となりました。また、平成30年度実績の2,500,580kWhから65,832kWhの削減となり、最終目標である50,000kWhの削減に対し、131.66%と目標に対して大幅な削減となりました。主な削減要因は、水源においてポンプ等を停止したことが主な要因となっています。

再生可能エネルギーについては、当初の計画では庁舎屋上に太陽光パネル及び蓄電池を設置する計画でしたが、費用対効果や様々なリスクを勘案した結果、令和2年度に東側車庫の屋根上に太陽光パネルを設置、また、電気自動車への充電設備を併せて設置しました。なお、12月から稼働しており、発電した電力は商用電力を混ぜて庁舎の電力として利用しています。

施策の項目	最終目標	前年度 (R1)	実績 (R2)	前年度比	最終目標比	評価
電力使用量の削減 (再生可能エネルギー含む)	2,500,580kWh(平成30年度)から50,000kWh削減	2,522,069 kWh	2,434,748 kWh	▲ 87,321 kWh	▲ 65,832kWh (▲131.66%)	↑
再生可能エネルギー 利用率の向上	太陽光発電設備の設置と活用	- kWh	1972 kWh	- kWh	達成	→

2 資源循環の促進

令和2年度の建設副産物の再資源化率は、建設発生土が83.67%となり前年度に対し64.15ポイントの上昇となり、最終目標である平成30年度実績以上の有効利用率に対して56.2ポイントの増となりました。アスファルト・コンクリート塊は96.95%となり、前年度に対し3.14ポイント上昇となりましたが、最終目標である平成30年度実績以上の有効利用率に対して2.14ポイントの減となりました。

ごみ排出量は2,340.0kgとなり、前年度に対し592.5kg減少しました。また、平成30年度実績の4,218kgから1,878kgの削減となり、最終目標である1,265kgの削減に対し613kg多く削減できており、現時点ですでに目標を達成しています。

施策の項目	最終目標			前年度 (R1)	実績 (R2)	前年度比	最終目標比	評価
建設副産物の 有効利用率の 向上	平成30年度 実績以上の有 効利用率	建設副産物 (建設発生土)	27.47%	19.52%	83.67%	64.15ポイント	56.20ポイント	↑
		アスファルト・ コンクリート塊	99.09%	93.81%	96.95%	3.14ポイント	▲ 2.14ポイント	↓
施策の項目	最終目標			前年度 (R1)	実績 (R2)	前年度比	最終目標比	評価
ごみ排出量の 削減	4,218kg(平成30年度)から30%(1,265kg)削減			2,932.5 kg	2,340.0 kg	▲ 592.5 kg	▲ 1,878.0 kg	↑

3 健全な水循環の構築

令和 2 年度の有効率は 97.86%となり、前年度に対し 0.12 ポイントの上昇となりました。また、最終目標に対して 1.71 ポイント上回り、現時点で目標を達成しています。調定減額水量の減が主な要因です。

令和 2 年度の水源地の間伐実施済み面積は 285.62ha で、累計面積は 11,140.10ha となりました。また、令和 2 年度末目標値に対して 559.9ha 下回り、目標に到達できませんでした。国庫補助制度の変更などがあり、最近は計画通り整備できていませんが、今後も事業を推進していきます。

施策の項目	最終目標	前年度 (R1)	実績 (R2)	最終目標比	評価
有効率の向上	96.15%以上	97.74% (不感水量を含む)	97.86% (不感水量を含む)	1.71ポイント	➡
水源地環境整備事業の促進	11,700.00ha (令和2年度計画値)	10,854.48ha (307.24ha)	11,140.10ha (285.62ha)	▲ 560ha	⬇

※水源地環境整備事業の促進評価は、年度の計画値との比較で評価しています。

4 環境に配慮した行動

令和 2 年度は軽自動車を 1 台買換え、給水車を 1 台購入したことにより、低燃費自動車が 1 台増となり、また、公用車の総数が 1 台増となりました。その結果、低燃費自動車の導入率は 60.0%となり、前年度に対して 1.70 ポイントの増となりました。今後も買い替え時には、低燃費自動車を導入していきます。

単価契約物品におけるグリーン購入の導入率は 91.1%となり前年度とほぼ変化はありませんでした。引続き単価契約だけでなく、物品購入全般にわたる取組みが必要であると考えます。

施策の項目	最終目標	前年度 (R1)	実績 (R2)	前年度比	最終目標比	評価
低燃費自動車の導入	導入率 70.0% (令和2年度 60.0%)	58.3%	60.0%	1.7ポイント	▲10.0ポイント	➡
グリーン購入の推進	導入率 70.0%	91.2%	91.1%	▲0.1ポイント	21.1ポイント	⬆
環境に配慮した行動の促進	環境保全対策の継続実施と 職員の意識向上	実施	実施	-	達成	➡

5 今後の取組み

令和2年度から、「愛知中部水道企業団環境計画」の下半期、「愛知中部水道企業団環境計画実施計画令和 2 年度-令和 6 年度」のそれぞれの 1 年目となっています。最終目標を達成できるよう、着実に取組みを実施していきます。また、令和 2 年度末の時点ですでに最終目標を達成している項目もありますが、引き続きさらなる向上を目指して取り組んでいきます。